

会報の名称を「希望郷いわてパラスポ通信」に変更しました

本号（第15号）より、会報の名称を「希望郷いわて障スポ通信」から『希望郷いわてパラスポ通信』に変更することにしましたのでお知らせいたします。

最近、「パラスポーツ」という言葉をよく耳にするようになりました。東京パラリンピックの開催を契機に障がい者スポーツへの関心度が高まっています。これまで当協会ではスポーツを通じた共生社会推進の取組みとして障がいのある方もない方も共に参加できる事業を数多く実施してきました。「パラスポーツ」は、このような活動にもマッチする名称だと思います。

今後も、より多くの方々にスポーツの素晴らしさを実感していただくとともに、障がいのある人もない人も、共にスポーツや様々な活動を一緒に楽しむ機会を増やし、誰もが互いを理解・尊重しながら生きる社会の実現を目指して活動してまいります。

事業報告 -Report-

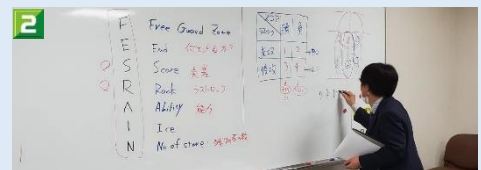
令和3年4月～10月の活動報告です

※紙面スペースに限りがありますので、詳細は当協会ホームページより「活動報告」をご覧ください。

『車いすカーリングチーム始動！』

- ◆期日：令和3年4月1日（木）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：昨年度、岩手県委託事業「デュアルアスリート・プロジェクト事業」により、車いすカーリングチーム「SHINE」を結成。この事業は様々なスポーツに取り組んできたアスリートが他種目にチャレンジすることを支援するものです。本県は冬季スポーツにおけるソフト（指導者）・ハード（施設）等の環境面が充実していることから、冬季パラリンピック出場を目指して、この活動をスタートしました。

昨年度の活動において練習会や練習試合を行いました。技術的な部分は徐々に向上していますが、試合となるとその技術を発揮することの難しさに加え、相手との駆け引きやチーム戦術など習得すべき内容がたくさんあります。そこで今回の講習会では一般的なカーリングの試合で使われている戦術を理解する機会としました。講師はチームの齊藤さん、戸根さんの両コーチにお願いしました。今年度は日本選手権出場を目標に活動しています。



▲①昨年12月に開催された車いすカーリング教室、②③研修会の様子。講師はコーチの齊藤圭一さんが務めた。日本選手権出場に向けて活動開始です

CONTENS



- 事業報告（4月～10月）
- P1 / 車いすカーリングチーム活動開始
- P2 / 卓球バレー指導者養成講習会 / 希望郷いわてオープン2021 他
- P3 / 第23回岩手県障がい者スポーツ大会ボッチャ競技 他
- P4 / グラウンドゴルフ関交流大会 他
- P5 / 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会（県央地区）他
- P6 / 登山体験教室 / マリンスポーツ体験教室
- P7 / グレードランニングクリニック 他
- P8 / グラウンドゴルフ釜石鶴住居交流大会 他
- P9 / 第2回岩手パラ陸上記録会 他
- 令和2年度決算資料、令和3年度収支予算書（P10～11）
- 会員紹介（P12）

ホームページについて

開催要項、申込書データのダウンロードや詳細情報は当協会のホームページよりご覧ください。

URL → <https://www.iwate-adaptive.or.jp/>



お問合せ先：一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会
岩手県障がい者スポーツ指導者協議会
岩手県卓球バレー協会

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626
E-mail : info@iwate-adaptive.or.jp

『卓球バレー指導者養成講習会』を開催！

- ◆期日：令和3年4月24日（土）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：今年度1回目の卓球バレー指導者養成講習会を開催しました。本講習会は日本卓球バレー連盟公認指導者資格の取得講習です。受講者は新規取得者3名、フォローアップ研修希望が2名と少な目でした。講習は当協会の三浦が講義と基本的なルール、アスレクトの菅野聡さんが実技全般を担当。受講者には市町村のスポーツ推進委員が含まれており、今後、地域におけるインクルーシブなスポーツ参加環境整備が期待されます。当協会としてスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ等と協働で参加環境作りを進めたいと思います。そのためには、指導者資格取得後のフォローアップが鍵となるため、当協会並びに岩手県卓球バレー協会では、2019年茨城大会で全国2位となったアスレクトチームの協力をいただきながら、より実践的な内容となるよう工夫しています。



▲講義1時間、実技3時間の内容で行った。実技では卓球バレーの強豪チームに協力をいただいた。

『希望郷いわてオープン2021卓球バレー交流大会』を開催！

- ◆期日：令和3年4月25日（日） ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：今年度も緊急事態宣言の発令などがないかぎり、当協会が主催する事業はすべて開催してまいります！さて、今年度、最初の卓球バレー大会です。卓球バレーは密となる場面が多く見られ、開催には賛否もありますので基本的な感染症対策に加え、1セット毎の手指及び用具等の消毒、卓球台に各1台・サーキュレーターを設置する等、参加者に不安を与えないように配慮して実施しました。コロナ禍の運営は、試行錯誤の連続です。

本大会は2月時点で日本卓球バレー連盟東ブロックの公認大会として実施を申請しました。しかし、実施日が近づいてもコロナ禍の影響は色濃く、県外参加はありませんでした。また、県内からも例年の3分の1の6チームの参加でした。それでも、できるかぎり多く試合を楽しんでいただくために、6チーム総当たり戦を行いました。結果はアスレクトAチームが4勝1分で第1位、以下、さんさ、アスレクトB、すけでケロ、もりおか TVC、まるこ大盛の順でした。やはり、定期的に練習を続けてきたチームが上位となっています。今回のもう1つ課題としては審判もしばらくぶりの試合となり試合勘がややなまっているようでした。今後はチームの練習会に合わせて審判練習もやりたいと思います。



▲①さんさ（左）対もりおか TVC（右）／主審・板垣（手前）、副審・及川（奥）、②アスレクト（手前）対まるこ大盛（奥）／主審・佐藤（奥）、副審・二瓶（手前）、③表彰の様子、賞を受け取るのはアスレクトチームの右ブロッカー・長末選手。長末選手の技術は全国的にも高い評価を受けている。

『グラウンドゴルフ奥州交流大会』を開催！

- ◆期日：令和3年5月14日（水）
- ◆会場：江刺カルチャーパーク（奥州市）
- ◆レポート：毎年、奥州大会を皮切りにグラウンドゴルフシーズンがスタートしています。コロナ禍の影響で参加者は少なかったですが、心地良い風が吹く中での交流大会となりました。江刺地区でのグラウンドゴルフ関連事業は昨年からは休止している中、ご協力いただいた江刺グラウンドゴルフ協会の皆様に感謝を申し上げます。今シーズンはこの後、一関、花巻、釜石での合計4回開催いたします。結果（8ホール×2コースの合計打数）はご覧のとおりです。男子個人戦は、地元、奥州市・江刺チームが上位を独占しました。

男性・個人の部（2ゲーム合計）
 第1位：高橋 清（江刺）／38点
 第2位：菊地 孝男（江刺）／43点
 第3位：佐藤 栄吉（江刺）／43点
 ※順位はホールインワンの数による

女性・個人の部（2ゲーム合計）
 第1位：葛尾 文子（花巻）／39点
 第2位：柳沢 キエ（北上）／42点
 第3位：遠藤 蓉子（江刺）／44点

団体の部（上位5名の合計点数）
 第1位：江刺／219点
 第2位：平泉・花巻／229点
 第3位：北上・いさわ／236点



初開催『ボッチャ競技 (第23回岩手県障がい者スポーツ大会)』

◆期日:令和3年5月16日(日)／◆会場:ふれあいランド岩手

◆レポート:今年から全国障害者スポーツ大会(以下、全スポ)の実施種目にボッチャ競技が採用されました。これは身体障がい者区分の出場種目の拡充を目的としています。四肢麻痺の方のみが出場できる正式ルールとは少し異なり、座位区分に加え立位区分があります。全スポでは、車いす選手と立位選手の2名でチームを組み、2エンドの合計得点で競い合います。

そして、この流れで県障がい者スポーツ大会の正式種目にボッチャが加わりました。しかし、本県には公認審判員がいません。

そこで、岩手県作業療法士の協力の下、全スポ競技規則集とYoutube動画で試合方法を勉強しての運営でした。当日は車いす区分には5名、立位クラスには2名のエントリーがありました。車いす区分は5名による総当たり戦、立位区分は2名による決勝戦という形で行いました。ボッチャに取り組んでいる盛岡となん支援学校からは4名がエントリーしました。日頃からボッチャを練習しているだけあって、各選手とも自分の特性を活かした戦術を持っている印象を受けました。初めての大会でしたが、引率の保護者や先生方の声援を受け、大いに盛り上がりました。結果は、車いす区分が菅原芳輝選手、立位区分が小野正嗣選手が優勝しました。



▲①記念すべき初開催となったボッチャ競技には7名の選手が出場した。②盛岡となん支援学校の生徒同士の対戦。手前が佐々木穂高選手、奥側が大矢康生選手、③立位区分の対戦。左が根澤奨磨選手、右が小野正嗣選手、④車いす区分の対戦。左が遠藤豊選手、右が菅原芳輝選手

『(生出地区にて) ボッチャ体験教室』を開催!

◆期日:令和3年5月29日(土)

◆会場:生出地区3地区コミュニティセンター(盛岡市玉山区)

◆レポート:今、生出地区ではボッチャが熱い!昨年度からボッチャに取り組む生出地区の皆さん。火付け役は、盛岡市身体障害者協議会の会長を務める津志田さん。自らがボッチャを体験し、障がいの有無や年齢、性別に関わらず楽しめる魅力を地域に広げる取組みとして実施している。地域への周知は盛岡市社会福祉協議会玉山支所の伊藤さんに協力をいただいている。今回も15名ほどの住民が集まりボッチャを楽しんでいただいた。また、同地区ではボッチャ用具を購入したということで、今後は親子三世代の地域交流会などの開催につながる期待が膨らむ。



2年ぶりの開催『第23回岩手県障がい者スポーツ大会』

◆期日:令和3年6月5日(土)

◆会場:岩手県運動公園、ふれあいランド岩手、盛岡スターレーン(盛岡市)

◆昨年はコロナ禍により中止。今年も開催が危ぶまれましたが、大会実行委員会において作成したガイドラインにより、感染症対策を徹底して開催しました。日常的なスポーツ実施率の低い障がいのある方々にとってスポーツイベントは重要な活動機会となります。当協会では、緊急事態宣言等の発令期間でないかぎり、すべて事業を実施することで取組んできました。しかしながら、変異株の出現や大会直前の盛岡市の市中感染の情報などあり、参加選手は例年の35%ほどにとどまりました。高校生や専門学校生を中心とするボランティア集めも苦労すると思われましたが、こちらはほぼ例年なみの人員を確保することができました。大会前日の準備は大雨となりましたが、当日は好天に恵まれ、選手たちは久しぶりの競技参加を楽しみました。開閉式の未実施など例年とは内容が異なる大会となりました。ガイドラインでは、販売活動の中止、応援制限、分散解散、メダル授与の簡略化等、様々な対策を実施しました。これにより例年の盛り上がりとは比べると少し寂しい気がしました。来年は、通常開催できることを祈りたいと思います。



『グラウンドゴルフー関交流大会』を開催！

◆期日：令和3年6月9日（水）／◆会場：一関市サッカー・ラグビー場（一関市）

◆レポート：グラウンドゴルフは身障者に人気のスポーツ種目の1つです。しかし、年々競技人口は減少しています。この原因は身障者団体の会員の高齢化や障がいの重度化等による組織体制も影響していると思われます。また、これは障がいのあるなしに関わらず各団体の共通の課題でもあります。そこで、今後は障がいのある人もない人も一緒に活動できる『インクルーシブスポーツ』を活用した事業が求められてくると考えています。当協会ではボッチャや卓球バレーの他、グラウンドゴルフやゲートボールもインクルーシブスポーツと位置づけ取り組んでいます。

さて、当日はこの時期としては暑いぐらいの素晴らしい天気の中、男性部門30名、女性部門10名、オープンクラス（健常者）男子10名、女子5名の合計55名が交流と競技を楽しみました。この会場は人工芝のため、歩きやすく、車いす利用の方もプレーしやすいと好評でした。また、次回もこの会場を利用したいと思います。最後になりましたが、ご協力いただきました一関市グラウンドゴルフ協会の皆様ありがとうございました。結果は以下のとおりです。

男性・個人の部 第1位：伊東 次夫（平泉）38点 第2位：千葉 貞一（千厩藤沢）39点 第3位：高橋 孝明（北上）40点	女性・個人の部 第1位：菊地 次子（大東東山）40点 第2位：富松 ハヤ（金ヶ崎）43点 第3位：鈴木 伸江（一関花泉）45点	男性・オープンの部 第1位：千葉 三夫／33点 第2位：杉田 齊／35点 第3位：鈴木 正志／36点	女性・オープンの部 第1位：瀬戸 良子／39点 第2位：杉田 富美子／41点 第3位：千葉 光子／44点
--	---	--	--



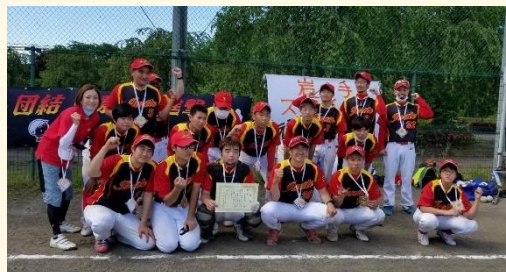
祝・初優勝！スマイリーズ（岩手県）の皆さん、おめでとう！

第21回全国障害者スポーツ大会・北海道東北ブロック予選会（ソフトボール競技）

◆期日：令和3年6月20日（日）／◆会場：都南中央公園（盛岡市）

◆レポート：コロナ禍により中止が相次ぐ中での実施となった。当初予定していた会場がコロナ禍により貸出不可となり急遽、会場変更となった。今回の大会エントリーは、岩手県と宮城県のみでこの試合に勝利したチームが全国大会（三重とこわか大会）の出場権を獲得する。

岩手県チームは、2012年に奥州市江刺にあるワークセンターわかくさが中心となり支援学校生徒や社会人の合同チームとして結成された。2016年の希望郷いわて大会は、開催枠で出場しているが、予選会では今一步のところで悔しい想いをしてきた。



▲ チーム結成以来の努力が実りました！

さて、試合を振り返る。初回は投手戦の展開。2回に試合が動き出す。先行したのは宮城県で2回に1点、3回には2点を追加し、3対0と試合を優位に進めた。岩手のエース中村岬は、宮城の強力打線に対して粘りのピッチングを見せ、最少失点で防いだ。対する宮城の絶対エース大高は、4回まで被安打1、10奪三振と岩手打線を完璧に封じ込めた。しかし、最終回に岩手チームの反撃を受ける。清水の本塁打を足がかりに安打を連ね、一挙に6点を挙げ、逆転する。岩手が6対3で勝利し、ブロック予選会の初優勝を飾った。両チームともに長年、切磋琢磨を続けてきた仲間たちである。お互いに好プレーが多く、さわやかな試合であった。最終回は岩手に少しだけ運も味方したように見えた。両チームの健闘を讃えたい。

☆得点経過

チーム名	1	2	3	4	5	合計
岩手県	0	0	0	0	6	6
宮城県	0	1	2	0	0	3

☆記録

チーム名	打数	安打
岩手県	23	9
宮城県	23	7



▲①宮城県・大高投手、②岩手県・中村投手による見事な投げ合い。③5回表、清水選手（9）の本塁打をきっかけに一挙6点を挙げた。

『初級障がい者スポーツ指導員養成講習会（県央地区）』

◆期日：令和3年7月17日（土）、18日（日）、22日（木）

◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：本講習会により、（公財）日本障がい者スポーツ協会公認資格を取得することができます。受講対象は18歳以上であればどなたでも可能です。本県では昨年度から県央地区と沿岸地区で各1回、合計2回開催しています。また、より実践的な講習会となるよう、できるかぎり障がい者スポーツの実践経験に加えて現場指導の経験豊富な方に講師をお願いするようにしています。さて、今年もコロナ禍の影響は色濃く、受講者が14名と少ない状況でした。東京オリパラの延期による変則日程も影響したかもしれません。最近の傾向としては福祉関係者に加えて、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ関係者、リハビリ専門職の受講が増えてきています。地域におけるスポーツ参加環境を整備する上では、いずれも欠かせないメンバーです。当協会として資格取得後の活動もしっかりフォローしていきたいと思えます。



▲①受講者全員で記念撮影、②「ごめん・どんまいゲーム」運動教室での導入には有効です。③風船を使用したスモールステップ指導の組立てを学びます。

『スポーツで繋がる新たな絆』青年会議所による新たな地域貢献

◆期日：令和3年7月23日（金）／◆会場：花巻市総合体育館（花巻市）

◆レポート：昨年、青年会議所との連携事業として開催予定でしたが、コロナ禍により延期。今回は何とか開催されました。スポーツ交流としてポッチャ、卓球バレー、車いすバスケットボール、車いすハンドボールとeスポーツなど、参加者は多くのボランティアとともに楽しんでいました。事業名にあるとおり、新たな絆（連携）が生まれた事業となりました。主催は（公財）日本青年会議所東北地区岩手ブロックで当協会は共催団体として参加。この他にも岩手eスポーツ協会、岩手県ハンドボール協会、ラッセル岩手（車いすバスケットボールチーム）、地元のスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブが協働で運営を担当しました。当協会の事業でも連携を図るために様々な取り組みをしていますが、青年会議所が加わると全然パワーが違います。今後も、この「繋がり」を継続させて、大きなうねりを起こせたらと思います。



▲スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、障がい者団体、社会福祉協議会、車いすバスケットチーム、そして地元の高校生ボランティアなどが参加して、地域住民にパラスポーツの体験イベントを運営した。このように横につながる機会が当たり前に行われるといいですね！

『三重とこわか大会派遣選手の強化練習会』を開催！

◆期日：令和3年7月24日（土）

◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：全国障害者スポーツ大会は2019年は台風の影響で中止。2020年はコロナ禍により中止。今年も開催されるか不透明な中ではあったが第21回全国障害者スポーツ大会・三重とこわか大会に派遣される個人競技28名の強化練習を実施した。午前中は、各競技の選手・スタッフの自己紹介を行い、大会の派遣概要についての説明と選手団ユニフォームの採寸等を行った。

午後は各競技に分かれ、2時間ほど強化練習を行った。今回より、新種目としてポッチャ競技が加わり、本県からは立位でプレーする選手1名、座位でプレーする選手1名の2名が派遣される。ルールは全スポの特別ルールで行う。

その他の競技の選手たちも監督・コーチからの助言をいただきながら、自己ベスト更新を目指して練習に取り組んでいた。



今年も雨でした…

登山体験教室

～八幡平へGO！

◆期日：令和3年8月1日（日）

◆会場：八幡平レストハウス（八幡平市）

◆レポート：ここ数年、よく雨に当たります。車いすの参加者もいるので八幡平での野外活動となれば、通常、このような天気だと中止にしたいところですが、しかし、自然相手の事業は悪天候も1つの醍醐味？です。リスクマネジメント上、大きな影響を及ぼす可能性がなければ実施したいと考えています。とはいっても前日17時の時点での実施判断はかなり迷いましたが、山岳協会さんとも相談の上、予定どおり開催することになりました。

さて、皆さん、しっかりと雨対策をしてきてくれたおかげでスムーズに登山に挑むことができました。今回は、三重とわか大会に出場する南館咲希くん（盛岡となん支援学校）の登山挑戦の様子が24時間テレビで放送されるということで、密着取材を受けておりました。雨に加えて気温も低めでしたが、夏の猛暑に比べたらかわいいものでした。皆さん、元気良く山頂まで到達し、記念撮影。その後、八幡沼付近での昼食はキャンセルし、すぐに下山しました。これまでにないぐらいの早いペースでの登山でした。残念だったのは、各ビューポイントが濃霧でイマイチだったこと。来年こそは、晴れることを期待しましょう！参加者の皆さん、そして岩手県山岳スポーツライミング協会の皆さん、ありがとうございました！



絶好の天気でした！

マリンスポーツ体験教室

～海へレッツゴー！

◆期日：令和3年10月3日（日）

◆会場：リアスハーバー宮古（宮古市）

◆レポート：8月中旬から9月にかけて県独自の緊急事態宣言により、すべての事業を一旦休止しておりました。そして、宣言解除後、最初の事業は大人気のマリンスポーツ体験教室でした。当日は久しぶりの快晴。気温もこの時期としては温かく絶好のマリンスポーツ日和でした。当初の予定より1か月半延期しましたので寒くなくてよかったです。

さて、午前中はシーカヤックで海の散歩を楽しみました。最初は陸でパドル操作のイメージを掴み、すぐに海上に繰り出しました。初めて参加されたご家族の皆さんにも好評で「こんなに簡単に楽しめるとは。次回は是非他のご家族も誘って参加したい」とのこと。午後はボードで浄土ヶ浜をコースに含めたクルージングを楽しみました。海から眺める浄土ヶ浜の絶景も格別です。残念だったのは波が少し高めで「青の洞窟」には行けなかったことです。次回も多くの方々にもマリンスポーツを楽しんでいただきたいです。これもいわてマリフィールドや宮古市シーカヤック協会の指導者の皆さん、そして理学療法士や作業療法士を始めとするボランティアの皆さんがいるからこそできること。あらためて感謝を申し上げます！



【スポーツ義足で人生が変わる！】ブレードランニングクリニック



◆期日：令和3年10月9日（土）◆会場：高田松原第一サッカー場（陸前高田市）

◆レポート：この事業は TOKYO2020 公認プログラムとして静岡県や東京都などで開催されています。当初は5月に開催予定でしたが、コロナ禍により、10月9日の三陸花火競技大会 2021 の開催に合わせて実施することになりました。講習は Xiborg 代表の遠藤謙さんのお話からスタート。本日の内容は選手が自らブレードの脱着を覚えることと、ランニング体験が中心です。遠藤さんの指導の下、参加者の皆さんは初めて目にするブレード（競技用義足）を装着体験しました。その後、リオパラリンピック日本代表の佐藤圭太さん（トヨタ自動車）を講師にウォーミングアップ、ランニングを行いました。「自由に走り回りたい」という気持ちは人間が持つ本能かもしれません。何らか理由によって足を失い、仲間と一緒にスポーツを楽しむ機会に恵まれない方々にとって、このブレードは明るい光を灯す可能性があります。是非とも多くの方に知っていただきたいと思いました。また、来年度以降も継続していきたいと思います。開催にあたりご協力をいただきました義足の図書館様、Xiborg の遠藤さん、ソニー研究所の柏さん、まるごと陸前高田の伊藤さん。そして遠路講習のお手伝いご参加いただいた静岡県障がい者スポーツ協会の中野様はじめ多くの方のご協力に感謝いたします。

『市民総参加スポーツの集い（パラスポーツ編）』

◆期日：令和3年10月10日（日）

◆会場：盛岡市立武道館（盛岡市）

◆レポート：本事業は盛岡市スポーツ協会の主催事業の「市民総参加スポーツの集い」として市内のスポーツ施設で1日を通して様々なスポーツ種目を体験することができます。市立武道館ではパラスポーツの他、総合型格闘技、バランス体験、杖道、空手、キックボクササイズが体験できます。私たちはパラスポーツ体験としてボッチャと卓球バレーを担当しました。卓球バレーの指導サポートとして全国大会2位の実績のある「アスレクト」と県内の強豪チーム「さんざ」の皆さんにご協力いただきました。初めて体験する方々にもわかりやすくルール説明をしながら一緒にプレーを楽しんでいただきました。

また、盛岡市立武道館では、自主事業としてボッチャや卓球バレーを活用して地域へのパラスポーツ普及に取り組んでおり、パラスポーツを通して地域における共生社会づくりが進むことが期待されます。



『ボッチャ体験教室（盛岡市立仙北小学校）』

◆期日：令和3年10月11日（月）

◆会場：盛岡市立仙北小学校（盛岡市）

◆レポート：対象は5年生の4クラスで1度に体験できる人数の都合上、2クラス×2回という形で実施しました。学校では6コート作成していたので、各コートで3対3の団体戦のような雰囲気での体験していただきました。最初に全体でルール説明をして、すぐに各コートで2エンドの試合をしました。その後はローテーションして対戦チームを変えながら時間までゲームを楽しんでいただきました。最初はジャックボールに近づけることだけを意識していましたが、徐々にどうしたら相手チームより得点を取れるのか、相手のボールをはじいて動かそうとか、チーム内で作戦を考えながらプレーしているのが印象的でした。子どもたちの吸収力はすごいですね。



『グラウンドゴルフ釜石鵜住居交流大会』を開催！

◆期日：令和3年10月12日（火） ◆会場：釜石鵜住居復興スタジアム（釜石市）

◆レポート：昨年に続き2度目の開催。前日の大雨で芝の状態が心配されましたが水はけが良く、プレーにはほとんど影響が出ない状態でした。水はけの良さに驚きました。芝の状態も素晴らしく、さすがはワールドカップの会場ですね。

参加者は、花巻、金ヶ崎、大船渡の皆さんと地元の参加者を含めて約70名でした。特に釜石市のグラウンドゴルフ協会の皆さんは久しぶりの事業ということでたくさん参加いただきました。また、障がい者事業所からの参加もありました。

開会式の後早速、プレーを楽しみました。大会形式として行い、2コース、合計16ホールの打数を競い合いました。プレーが始まると皆さん真剣勝負モードで思い思いにプレーを楽しみました。結果は以下のとおりです。

この釜石鵜住居復興スタジアムのアクセスは三陸道・釜石北IC降りてお車で5分程度。鵜住居駅から徒歩約10分です。駅周辺には釜石市民体育館や道の駅などもあり、人で賑わう場所になるといいです。来年はさらに参加者を増やして盛り上げたいと思います。

男性・個人の部

第1位：小原 直幸（花巻市）37点
第2位：小岩 寛（大槌町）45点
第3位：阿部 賢治（花巻市）49点

女性・個人の部

第1位：富松 ハヤ（金ヶ崎町）50点
第2位：葛尾 文子（花巻市）50点
第3位：今野 房子（大船渡市）54点

男性・オープン部の部

第1位：千菅 博幸（釜石市）37点
第2位：安田 征治（大船渡市）37点
第3位：佐々木喜美雄（花巻市）38点

女性・オープン部の部

第1位：千葉 静子（大船渡市）39点
第2位：矢野キヨ子（釜石市）42点
第3位：西村 美江子（釜石市）42点



『岩手県卓球バレー交流大会2021』を開催！

◆期日：令和3年10月17日（日）

◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：今年度は県委託事業として卓球バレー開催事業が組み込まれました。委託内容は県央、県北、沿岸の3地区において卓球バレー大会を開催する事業です。このうち県央地区の事業として本大会を実施することにしました。

今回は、18チームがエントリー。注目は昨年初参加の岩手リハビリテーション学院の理学療法学科1年生チームです。先輩たちは1セットも取れずにあえなく全敗しましたが今年はどうだったのでしょうか？

さて、結果です。チャレンジクラスは14チームがエントリーし、午前中は4ブロックに分かれ予選リーグを行いました。上位2チームは決勝トーナメント進出。それ以外のチームは交流戦を行いました。決勝トーナメントには8チームが進出。優勝はアスレクトA、準優勝がアスレクトB、第3位は金ヶ崎Aでした。金ヶ崎Aの高橋令（ちかさ）選手はなんと89歳でレギュラーメンバー。本大会で100歳まで現役を宣言されておりました。そして岩手リハチームは、予選リーグは全敗でしたが、交流戦で初めてセットを取り引き分けに持ち込みました。年齢や性別、そして障がいの有無に関わらず、みな一緒に楽しむことができる卓球バレー大会への参加は学生たちにも良い経験になったと思います。



『パラスポーツ体験教室』（岩手県肢体不自由児者父母の会）

◆期日：令和3年10月21日（木）

◆会場：岩手県勤労身体障害者体育館・パラリーナ（盛岡市）

◆レポート：今日は卓球バレーとボッチャで楽しんでいただくことにしました。参加者の中には経験者もいました。久しぶりということだったので、ルール説明から入りました。長い説明は避け、体験を多めにしながら、反則プレーが出た時に説明する形式で行いました。最初はおそろおそろでしたが、すぐに皆さんラリーができるようになりました。卓球バレーは上手にできた人だけではなく、失敗した人も笑顔になりますね。本当に不思議です。いつか皆さんで卓球バレーやボッチャの大会に出場して、多くの方々とスポーツを通して笑い合える時間になることを期待しています。是非、また一緒に楽しみましょう！



【自己記録にチャレンジ!】第2回岩手県パラ陸上記録会



◆期日：令和3年10月23日(土) ◆会場：日居城野陸上競技場(花巻市)

◆レポート：昨年に引き続き2度目の開催です。この大会は岩手陸上競技協会のご協力で日本陸連の公認大会となりました。本県では仕事をしながら競技も楽しんでいるパラアスリートが増えています。これは生涯スポーツの推進の広がりを実感でき、とても良い傾向だと思えます。卒業後も、仕事とスポーツを両立しながら充実した人生になるよう指導者の皆さんのお力をお借りしながら取り組んでいきたいと思えます。

さて、本記録会は花巻市陸上競技協会のご協力により運営されました。今回は48名の選手が参加して、トラック種目、フィールド種目で自己記録更新を目指しました。また、今回は県外からのアスリートも参加しております。コロナ禍により陸上を含め多くの大会が中止となり、練習の成果を発揮する場を求めてエントリーしたとお伺いしました。

今後は本記録会も日本パラ陸連のご指導をいただきながらパラ陸連公認大会となるよう取り組んでいきたいと思えます。もし、岩手で公認大会が開催されれば県内はもちろん東北在住の方にとってもジャパラ出場のチャンスが広がります。まずは継続して開催できるよう努めたいと思えます。

【水泳でつながる】第2回岩手県パラ水泳記録会 兼 岩手マスターズ水泳記録会 兼 秋季東北パラ水泳記録会

◆期日：令和3年10月30日(土)

◆会場：盛岡市立総合プール(盛岡市)

◆レポート：この記録会は昨年度よりスタートしました。コロナ禍により各種大会が相次ぐ中、練習の成果を発表する機会を求めめるニーズは高いように思えます。また、今回も岩手マスターズ水泳記録会を兼ねての実施となりました。これに加えて今年より秋季東北パラ水泳記録会の3つの大会の合同開催となりました。

さて、今回は東北身体障がい者水泳連盟より、5名の役員派遣をいただきました。また、公認記録として認定をいただいたことにより、ジャパラ等の上位大会の参加基準記録突破を目指すことが可能となりました。これまで関東など遠方開催の大会参加が必要でしたので、競技力向上や競技の普及につながると期待されます。



【2年ぶりの開催】『第3回あまちゃんカップ(卓球バレー久慈交流大会)』

◆期日：令和3年10月31日(日) ◆会場：久慈市民体育館(久慈市)

◆レポート：NHKドラマ「あまちゃん」でお馴染みの久慈市での卓球バレー大会です。『あまちゃんカップ』は、2018年よりJICA研修生を迎えた国際交流事業としてスタートしました。昨年はコロナ禍により中止となりました。今回は何とか再開に漕ぎつけたもののJICAとの交流は実現しませんでした。まだまだコロナ禍の不安が漂っています。そんな中、9チームが参加して卓球バレーを楽しみました。試合は、チームの競技性や希望によりクラス分けをしました。競技性の高いあまちゃんクラス5チーム。交流を目的にする琥珀クラス4チーム。それぞれ総当たり戦で行いました。

琥珀クラスにエントリーした「あまちゃんチーム」はご来賓である久慈市の遠藤市長、地元県議の岩城さん、そして教育長の後さんの3名が選手として加わりました。見るとやるとではまた違う面白さを感じていただく機会となりました。久慈市の卓球バレー熱がますます盛り上がるかもしれません。



令和2年度決算資料及び
令和3年度収支予算について

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	320,000	1,935,412	△ 1,615,412
未収入金	3,636,632	3,994,507	△ 357,875
棚卸資産	59,400	59,400	0
貯蔵品	8,564	8,564	0
前払金	19,596	19,596	0
立替金	0	0	0
流動資産合計	4,044,192	6,017,479	△ 1,973,287
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	5,827,230	5,443,050	384,180
その他固定資産			
車両運搬具	0	745,245	△ 745,245
什器備品	0	389,074	△ 389,074
固定資産合計	5,827,230	6,577,369	△ 750,139
資産合計	9,871,422	12,594,848	△ 2,723,426
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	3,400,000	3,250,000	150,000
未払金	300,000	1,013,030	△ 713,030
前受金	100,000	1,587,904	△ 1,487,904
預り金	85,380	85,380	0
未払法人税等	72,000	72,000	0
未払消費税等	681,100	681,100	0
流動負債合計	4,638,480	6,689,414	△ 2,050,934
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,443,050	5,443,050	0
固定負債合計	5,443,050	5,443,050	0
負債合計	10,081,530	12,132,464	△ 2,050,934
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	△ 210,108	462,384	△ 672,492
負債及び正味財産合計	9,871,422	12,594,848	△ 2,723,426

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	716,000	825,000	△ 109,000
1 正会員	160,000	156,000	4,000
2 賛助会員	556,000	669,000	△ 113,000
3 特別会員	0	0	0
② 事業収益	27,150,007	33,150,073	△ 6,000,066
1 受託事業収益	24,984,907	30,912,273	△ 5,927,366
2 物品販売収益	2,165,100	2,237,800	△ 72,700
③ 受取補助金等	3,960,387	4,832,476	△ 872,089
1 補助金収益	3,960,387	4,832,476	△ 872,089
④ 受取協賛金	0	479,568	△ 479,568
1 受取協賛金	0	479,568	△ 479,568
⑤ 受取寄附金	525,000	91,780	433,220
1 受取寄附金	525,000	91,780	433,220
⑥ 雑収益	865,656	577,553	288,103
1 受取利息	28	47	△ 19
2 雑収益	865,628	577,506	288,122
経常収益計	33,217,050	39,956,450	△ 6,739,400
(2) 経常費用			
① 事業費	31,474,073	38,761,135	△ 7,287,062
1 広告宣伝費	136,814	158,412	△ 21,598
2 給料手当	8,479,228	7,850,881	628,347
3 費与	1,748,000	1,696,000	52,000
4 退職給付費用	744,180	0	744,180
5 法定福利費	1,622,414	1,511,618	110,796
6 減価償却費	307,425	0	307,425
7 賃借料	308,884	1,477,776	△ 1,168,892
8 消耗品費	1,897,990	2,341,476	△ 443,486
9 光熱水費	94,929	119,960	△ 25,031
10 旅費交通費	2,367,470	2,757,782	△ 390,312
11 支払手数料	109,415	105,610	3,805
12 租税公課	1,273,500	49,200	1,224,300
13 保険料	299,186	358,006	△ 58,820
14 通信運搬費	975,399	864,795	110,604
15 諸会費	77,000	14,000	63,000
16 印刷製本費	599,765	1,693,173	△ 1,093,408
17 諸謝金	1,962,350	2,120,890	△ 158,540
18 選手派遣旅費	925,690	6,693,910	△ 5,768,220
19 食糧費	534,667	1,527,639	△ 992,972
20 車輦費	309,461	63,319	246,142
21 雑費	656,900	42,280	614,620
22 委託費	2,314,335	999,025	1,315,310
23 会場使用料	1,386,640	621,410	765,230
24 被服費	0	3,084,566	△ 3,084,566
25 支払補助金	707,831	1,385,307	△ 677,476
26 期首商品棚卸高	11,000	0	11,000
27 当期商品仕入高	1,634,000	0	1,634,000
28 期末商品棚卸高	△ 59,400	0	△ 59,400

科 目	当年度	前年度	増減
② 管理費	680,214	2,298,319	△ 1,618,105
1 広告宣伝費	30,938	8,340	22,598
2 退職給付費用	0	769,596	△ 769,596
3 福利厚生費	22,117	20,882	1,235
4 減価償却費	28,742	0	28,742
5 賃借料	33,044	24,716	8,328
6 消耗什器備品費	0	0	0
7 消耗品費	48,645	29,309	19,336
8 光熱水費	10,548	6,313	4,235
9 旅費交通費	56,200	148,165	△ 91,965
10 支払手数料	24,795	9,382	15,413
11 租税公課	41,500	66,600	△ 25,100
12 保険料	12,862	1,629	11,233
13 通信運搬費	112,454	163,883	△ 51,429
14 諸会費	75,375	76,916	△ 1,541
15 印刷製本費	40,222	193,644	△ 153,422
16 諸謝金	0	38,197	△ 38,197
17 選手派遣旅費	0	26,680	△ 26,680
18 食糧費	14,280	27,838	△ 13,558
19 車輦費	33,828	6,762	27,066
20 被服費	0	0	0
21 会場使用料	0	0	0
22 雑費	73,100	639,500	△ 566,400
23 支払利息	21,564	17,287	4,277
24 雑損失	0	22,680	△ 22,680
経常費用計	32,154,287	41,059,454	△ 8,905,167
当期経常増減額	1,062,763	△ 1,103,004	2,165,767
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	1,032,686	0	1,032,686
経常外収益計	1,032,686	0	1,032,686
(2) 経常外費用			
過年度修正損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	1,032,686	0	1,032,686
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,095,449	△ 1,103,004	3,198,453
法人税、住民税及び事業税	72,000	105,200	△ 33,200
当期一般正味財産増減額	2,023,449	△ 1,208,204	3,231,653
一般正味財産期首残高	△ 1,561,065	△ 352,861	△ 1,208,204
一般正味財産期末残高	462,384	△ 1,561,065	2,023,449
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	462,384	△ 1,561,065	2,023,449

正味財産増減計算書内訳表
令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月 31日まで

令和3年度収支予算書（前年対比表）
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科 目	収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計
	受託等事業	物販事業	補助金事業			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 受取会費				716,000		716,000
1 正会員				160,000		160,000
2 賛助会員				556,000		556,000
3 特別会員						
② 事業収益	24,984,907	2,165,100				27,150,007
1 受託事業収益	24,984,907					24,984,907
2 物品販売収益		2,165,100				2,165,100
③ 受取補助金等			3,960,387			3,960,387
1 補助金収益			3,960,387			3,960,387
④ 受取協賛金				0		0
1 受取協賛金				0		0
⑤ 受取寄附金				525,000		525,000
1 受取寄附金				525,000		525,000
⑥ 雑収益	0	4,350	734,170	127,136		865,656
1 受取利息					28	28
2 雑収益						865,628
経常収益計	24,984,907	2,169,450	4,694,557	1,368,136		33,217,050
(2) 経常費用						
① 事業費	25,289,943	1,781,279	4,402,851			31,474,073
1 広告宣伝費	105,876	30,938				136,814
2 給料手当	8,161,678		317,550			8,479,228
3 賞与	1,748,000					1,748,000
4 退職給付費用	744,180					744,180
5 法定福利費	1,622,414					1,622,414
6 減価償却費	258,684		48,741			307,425
7 賃借料	297,884		11,000			308,884
8 消耗品費	1,772,263	13,029	112,698			1,897,990
9 光熱水費	94,929					94,929
10 旅費交通費	1,941,205		426,265			2,367,470
11 支払手数料	81,860	11,825	15,730			109,415
12 租税公課	1,184,800	102,900	34,800			1,322,500
13 保険料	282,178		17,008			299,186
14 通信運搬費	875,506	29,859	70,034			975,399
15 諸会費	5,000		5,000			10,000
16 印刷製本費	550,732	7,128	41,905			599,765
17 諸謝金	1,527,550		434,800			1,962,350
18 選手派遣旅費	850,120		75,570			925,690
19 食糧費	451,777		82,890			534,667
20 車輛費	309,461					309,461
21 雑費	656,900		1,963,729			2,618,629
22 委託費	350,606					350,606
23 会場使用料	1,349,340		37,300			1,386,640
24 被服費	0					0
25 支払補助金			707,831			707,831
26 期首商品棚卸高		11,000				11,000
27 当期商品仕入高		1,634,000				1,634,000
28 期末商品棚卸高		△ 59,400				△ 59,400
② 管理費				680,214		680,214
1 広告宣伝費				30,938		30,938
2 退職給付費用				0		0
3 福利厚生費				22,117		22,117
4 減価償却費				28,742		28,742
5 賃借料				33,044		33,044
6 消耗什器備品費				0		0
7 消耗品費				48,645		48,645
8 光熱水費				10,548		10,548
9 旅費交通費				56,200		56,200
10 支払手数料				24,795		24,795
11 租税公課				41,500		41,500
12 保険料				12,862		12,862
13 通信運搬費				112,454		112,454
14 諸会費				75,375		75,375
15 印刷製本費				40,222		40,222
16 諸謝金				0		0
17 選手派遣旅費				14,280		14,280
18 食糧費				33,828		33,828
19 車輛費				0		0
20 被服費				0		0
21 会場使用料				0		0
22 雑費				73,100		73,100
23 支払利息				21,564		21,564
24 雑損失				0		0
経常費用計	25,289,943	1,781,279	4,402,851	680,214		32,154,287
当期経常増減額	△ 305,036	388,171	291,706	687,922		1,062,763
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
① 固定資産受贈益	929,418			103,268		1,032,686
経常外収益計	929,418	0	0	103,268		1,032,686
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	929,418	0	0	103,268		1,032,686
他会計振替（損金算入）	△ 515,213	0	0	515,213		0
他会計振替	4,854,093	△ 257,776	△ 1,715,179	△ 2,881,138		0
税引前当期一般正味財産増減額	5,478,475	130,395	△ 1,423,473	△ 2,089,948	0	2,095,449
法人税、住民税及び事業税	72,000					72,000
当期一般正味財産増減額	5,406,475	130,395	△ 1,423,473	△ 2,089,948		2,023,449
一般正味財産期首残高	△ 1,719,060	△ 180,400	0	338,395		△ 1,561,065
一般正味財産期末残高	3,687,415	△ 50,005	△ 1,423,473	△ 1,751,553		462,384
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額						
指定正味財産期首残高						
指定正味財産期末残高						
III 正味財産期末残高	3,687,415	△ 50,005	△ 1,423,473	△ 1,751,553		462,384

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	900,000	750,000	150,000
1 正会員	200,000	150,000	50,000
2 賛助会員	700,000	600,000	100,000
3 特別会員			0
② 事業収益	49,000,000	52,400,000	△ 3,400,000
1 受託事業収益	46,500,000	50,000,000	△ 3,500,000
2 物品販売収益	2,500,000	2,400,000	100,000
③ 受取補助金等	4,000,000	2,500,000	1,500,000
1 補助金収益	4,000,000	2,500,000	1,500,000
④ 受取寄附金	300,000	500,000	△ 200,000
1 受取寄附金	300,000	500,000	△ 200,000
⑤ 雑収益	50,050	200,050	△ 150,000
1 受取利息	50	50	0
2 雑収益	50,000	200,000	△ 150,000
経常収益計	54,250,050	56,350,050	△ 2,100,000
(2) 経常費用			
① 事業費	52,655,000	52,500,000	155,000
1 広告宣伝費	158,000	150,000	8,000
2 給料手当	8,200,000	8,000,000	200,000
3 賞与	1,700,000	1,700,000	0
4 退職給付費用	500,000	500,000	0
5 臨時雇賃金	0	0	0
6 法定福利費	1,500,000	1,500,000	0
7 賃借料	1,500,000	1,580,000	△ 80,000
8 消耗品費	2,400,000	2,525,000	△ 125,000
9 光熱水費	155,000	150,000	5,000
10 旅費交通費	2,400,000	2,500,000	△ 100,000
11 支払手数料	67,000	90,000	△ 23,000
12 保険料	495,000	495,000	0
13 通信運搬費	850,000	900,000	△ 50,000
14 諸会費	10,000	10,000	0
15 印刷製本費	1,450,000	1,500,000	△ 50,000
16 諸謝金	2,500,000	2,500,000	0
17 選手派遣旅費	16,000,000	18,250,000	△ 2,250,000
18 食糧費	2,500,000	2,500,000	0
19 車輛費	200,000	100,000	100,000
20 雑費	350,000	350,000	0
21 委託費	700,000	700,000	0
22 会場使用料	2,000,000	2,000,000	0
23 被服費	1,000,000	1,000,000	0
24 支払補助金	2,500,000	2,500,000	0
25 租税公課	1,500,000	1,000,000	500,000
26 期首商品棚卸高	50,000		50,000
27 当期商品仕入高	2,000,000		2,000,000
28 期末商品棚卸高	△ 30,000		△ 30,000
② 管理費	1,091,000	2,901,000	△ 1,810,000
1 広告宣伝費	30,000	17,000	13,000
2 退職給付費用	0	0	0
3 福利厚生費	22,000	22,000	0
4 賃借料	30,000	30,000	0
5 消耗什器備品費	0	0	0
6 消耗品費	45,000	48,000	△ 3,000
7 光熱水費	10,000	10,000	0
8 旅費交通費	115,000	120,000	△ 5,000
9 支払手数料	25,000	15,000	10,000
10 租税公課	50,000	50,000	0
11 保険料	10,000	5,000	5,000
12 通信運搬費	100,000	80,000	20,000
13 諸会費	74,000	74,000	0
14 印刷製本費	80,000	80,000	0
15 諸謝金	30,000	30,000	0
16 食糧費	20,000	20,000	0
17 車輛費	200,000	200,000	0
18 被服費	0	1,850,000	△ 1,850,000
19 会場使用料	0	0	0
20 雑費	250,000	250,000	0
経常費用計	53,746,000	55,401,000	△ 1,655,000
当期経常増減額	504,050	949,050	△ 445,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
過年度修正損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	504,050	949,050	△ 445,000
法人税、住民税及び事業税	132,000	132,000	0
当期一般正味財産増減額	372,050	817,050	△ 445,000

会員紹介

-Our Partners-



いつもあたたかいご支援をいただきありがとうございます！

(令和3年12月31日現在 敬称略・五十音順)

賛助会員一覧 (団体)

アーク (株)	(株) アイエムアイ	(株) アイシーエス	(株) IBC 岩手放送
(株) 青紀土木	(一社)岩手県建設業協会	岩手県産 (株)	岩手スポーツ用品販売 (株)
岩手県都市ガス協会	(一社)岩手県理学療法士会	いわて生活協同組合	岩手電工 (株)
岩手電力 (株)	岩手トヨペット (株)	(株) 岩手日報社	(株) エツリコ・エンジニアリング
岩手雪運 (株)	岩手リオン補聴器センター	(株) ヴィクトリア ネクススカンパニー	江刺岩手ライオンズクラブ
(株) 遠忠	(株) カガヤ	(株) 川徳	(株) 菊地建設
(株) 北日本銀行	(株) 久慈設計	小岩金網 (株)	(株) 小林精機
(株) 佐武建設	(株) 志百家	(株) 寿広	白金運輸 (株)
(有) 新栄観光バス	(有) タイガースポーツ	(株) テレビ岩手	(株) 中野製麺
(株) 日盛ハウジング	日本身体障害者団体連合会東北事業所	(株) 長谷川建設	府金製粉 (株)
(株) 藤沢体育堂	(株) ベルジョイス	みちのくコカ・コーラボトリング (株)	宮城建設 (株)
(株) 三八五観光	名鉄観光サービス (株) 盛岡支店	(株) 明和土木	盛岡商工会議所
(株) やよいデライト	(株) ユニバース	(株) 米澤商事	菱和建設 (株)

賛助会員一覧 (個人)

白畑 由貴子	菅 里美	藤村 誠	堀川 裕二
--------	------	------	-------

バナー広告掲載中！

賛助会員のバナー広告は無料で掲載しております。現在、以下 34 団体のバナー広告を掲載中。その他、掲載依頼がありましたら随時、当協会 HP にアップいたします。詳細につきましてはお問合せ下さい。

正会員一覧 (団体)

岩手県 ID バスケットボール連盟	(一社)岩手県作業療法士会	(社福)岩手県視覚障害者福祉協会
(社福)岩手県社会福祉協議会	(社福)岩手県社会福祉事業団	(社福)岩手県身体障害者福祉協会
岩手県スポーツウエルネス吹矢協会	(NPO)岩手県精神保健福祉連合会	岩手県知的障がい者サッカー連盟
岩手県知的障害者ソフトボール協会いわてスマイリーズ	岩手県特別支援学校連絡協議会	岩手チアスキークラブ・イーハトーブ
(一社) コ・イノベーション研究所	サークル「ゆの会」	(社福)自立更生会
全国脊髄損傷者連合会岩手県支部	(社福)手をつなぐ	(株) トラスト保険
ドルフィンズ岩手	(株) 畠山冷機工業所	ラッセル岩手

正会員一覧 (個人)

阿部 史憲	伊藤 昇	井上 勝巳	井上 君之	今宮 正彦	岩淵 典仁	上村 弥
及川 貞之	小江 巧	小原 敏弘	軽石 義則	菊池 幸子	小坂 亜純	佐々木 君夫
佐々木 茂	笹木 正	佐々木 満	佐藤 勝士	佐藤 慎二	佐藤 隆秀	佐藤 佑哉
篠原 政良	白藤 友一	菅原 幸二	高橋 修	中野 正紀	野辺地 省吉	藤井 公博
三浦 拓朗	民部田 誠	横沢 高德				

◆会員の募集について◆

「Sports For All」の考えに基づき、障がいのある方々が一人でも多く、いつでも気軽にスポーツに参加できるように取組んでまいります。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします！

区分	金額
賛助会員	個人 1口 1,000円
	団体 1口 10,000円
正会員	個人 1口 1,000円
	団体 1口 5,000円

*** 問合せ先 ***
 〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3
 (一社) 岩手県障がい者スポーツ協会
 TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626
 E-mail : info@iwate-adaptive.or.jp
<https://www.iwate-adaptive.or.jp/>